

アムステルダム式歩行分類によるAFO

www.orthosis-configurator.com/ja

義肢装具士: _____ 会社: _____

顧客番号: _____ 日付: _____

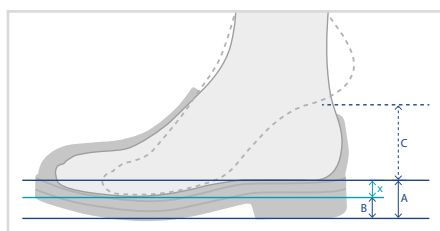
患者の個人データは、注文処理と統計学的評価のために保管・使用されますのでご了承ください。装具の荷重容量の計算は、ここに記入されたデータに関連付けて行われます。このデータは、装具を利用しているうちに変わることがあります。この装具療法シートに記入する際は、今後考えられる変化を考慮に入れてください(例:体重変化、筋肉強度の成長や変化)。

患者データ

患者氏名	生まれた年	体重	脚
		kg	左脚 右脚
データプライバシーの目的のため、下の名の最初の2文字と、名字の最初の2文字のみを記入してください。	性別	身長	左右の足で以下の点が異なっている場合は、装具療法シートを2枚使用してください。
	女性 男性	cm	

靴の測定

靴のサイズ (EU式)



高さ補償 (C)

靴底厚さ (B)

mm

mm

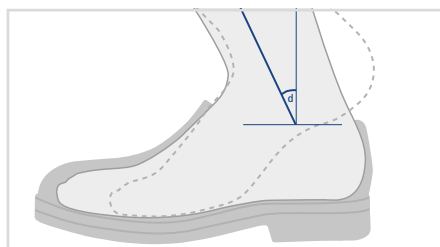
踵高さ (A)

踵と爪先の高低差 (x = A - B)

mm

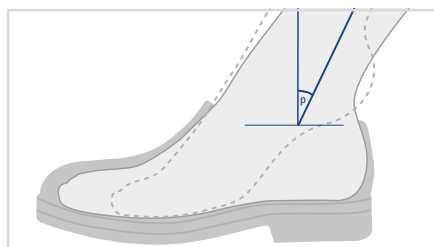
mm

上側足関節の運動範囲



背側

o



底側

o

アムステルダム式歩行分類による歩行タイプ

歩行タイプ	タイプ1	タイプ2	タイプ3	タイプ4	タイプ5
膝関節	正常	過伸展	過伸展	屈曲	屈曲
足の接地	完全	完全	不完全	不完全	完全

活動レベル



1. 屋内歩行

FIOR & GENTZ分類の活動レベル1は、GMFCS分類のレベルIV、FMS分類のレベル2に相当する。それぞれの分類レベルの詳細は以下の通り。

GMFCSレベルIV: 患者は、補助具を使用した場合のみ歩くことができる。患者は歩行器を使って、他の人の介助なしに歩くことができる。階段を上る際は手すりにつかまる必要があり、他の人の介助を必要とする。デバイスを用いた場合のみ、長い距離を歩くことができる。

FMSレベル2: 患者は、他の人の介助なしに歩くには、装具に加え歩行器も使う必要がある。



2. ある程度の屋外歩行



2. ある程度の屋外歩行

FIOR & GENTZ分類の活動レベル2は、GMFCS分類のレベルIII、FMS分類のレベル3に相当する。それぞれの分類レベルの詳細は以下の通り。

GMFCSレベルIII: 患者は、補助具を使用した場合のみ歩くことができる。患者は杖を使って、他の人の介助なしに歩くことができる。階段を上る際は手すりにつかまる必要があり、他の人の介助を必要とする。デバイスを用いた場合のみ、長い距離を歩くことができる。

FMSレベル3: 患者は、他の人の介助なしに歩くには、装具に加え杖も使う必要がある。



3. 無制限の屋外歩行

FIOR & GENTZ分類の活動レベル3は、GMFCS分類のレベルII、FMS分類のレベル5に相当する。それぞれの分類レベルの詳細は以下の通り。

GMFCSレベルII: 患者は多くの場合、追加のデバイスなしに歩くことができる。階段を上る際は片手で手すりにつかまる必要がある。走ったり、ジャンプしたり、長距離や凹凸のある地形を歩いたり、混雑した中を歩いたりするのは難しい。

FMSレベル5: 患者は、装具に加え、他のデバイスか他の人の介助を必要とする。階段を上る際は片手で手すりにつかまる必要がある。



4. 特に高強度の無制限屋外歩行

FIOR & GENTZ分類の活動レベル4は、GMFCS分類のレベルI、FMS分類のレベル6に相当する。それぞれの分類レベルの詳細は以下の通り。

GMFCSレベルI: 患者は、追加のデバイスなしに歩くことができる。走ったり、ジャンプしたり、手すりを使わずに階段を上ったりすることが、問題なくできる。

FMSレベル6: 患者は、装具に加え、他のデバイスか他の人の介助を必要とする。患者はさまざまな地形や混雑した中を歩くことができる。

装具データ

患者との面談中のメモ (例えば以前の治療など)
